

人名・地名を正しく表示!? ～IVS を利用してみよう!～

八雲町立八雲小学校
教諭 馬場 一徳

1. 外字利用の問題

指導要録や通信表などが電子化され、パソコンを使って作成・印刷する学校が増えてきている。要録や通信表の電子化は、多忙な教師の負担を軽減し、校務の効率化を図ることができる。その際に直面する問題が、人名や地名に使われている「異体字」（意味や読みが同じだが形が異なる文字）の問題だ。例えば、「ワタナベ」の「ナベ」や「サイトウ」の「サイ」などにはたくさんの異体字があり、これまでは「外字」として個別に作成・管理されたり、人名外字用のフォントを別途購入したりする必要があった。しかし、異なる情報システム同士で異体字を含むデータをやり取りした場合、正確に表示できないなどの問題が発生する。

2. IVS 対応フォント

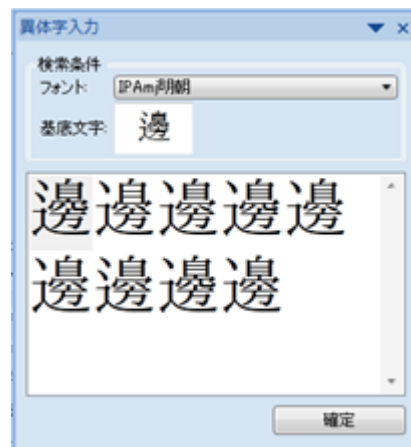
「異体字」の問題は学校現場に限ったことではなく、戸籍や住民台帳を管理する行政機関でも大きな問題となっている。そこで、国や独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、マイクロソフトなどから成る「IVS 技術促進協議会」などが中心となり、Unicode の仕組みを利用してこれを統一しようという試みが進められてきた。

Unicode では、文字を表す符号（コード）の後ろに「IVS（異字体セレクター）」と呼ばれる識別子を追加することで、「異体字」を扱うことができる。Unicode の IVS を利用するためには、それに対応したオペレーティングシステム・アプリケーション・フォントが必要になる。Windows の場合は、Vista から対応しているが、対応するフォントとアプリケーションが必要となる。IVS に対応するフォントとして IPA では約 6 万文字の漢字を収容し、共通基盤として利用可能な文字フォント「IPAmj 明朝フォント」の作成を行った。

なお、Windows8 や Windows Server 2012 では「Unicode IVD」へ標準対応しており、「IPAmj 明朝フォント」などの対応フォントをインストールするだけで異体字の入力・表示・コピーなどが可能となっている。

3. Unicode IVS Add-in for Microsoft Office

日本マイクロソフトは、「Microsoft Office」で「Unicode IVD (UTS#37)」に対応した異体字を扱えるようにするアドイン「Unicode IVS Add-in for Microsoft Office」を公開している。「Unicode IVS Add-in for Microsoft Office」は、「Microsoft Office」と「IPAmj 明朝」をはじめとした Unicode IVD に対応するフォントと組み合わせて使用することで、およそ 58,000 の異体字の表示・印刷・編集などが可能となる。これにより、これまで情報システムごとに個別で必要だった外字の作成が不要となり、異なる情報システム間での異体字を含むデータの活用が容易となる。Windows Vista/7 (32bit および 64bit) 上の「Office 2007」「Office 2010」に対応しており、現在、「CodePlex」のプロジェクトページから無償でダウンロードできる。



CodePlex <http://ivsaddin.codeplex.com/>

4. IVS Add-in for Microsoft Office

「Unicode IVS Add-in for Microsoft Office」の入力補助ツール機能が拡充された「IVS Add-in for Microsoft Office」がイースト株式会社より発売されている。商業利用の場合には有償となるが、個人の場合は無償でご利用することができる（※ただし製品サポートはない）

イースト株式会社 <http://www.est.co.jp/ivs/office/>



5. Unicode IVS 対応 Microsoft IME オープン拡張辞書

IVS Add-in をインストールした Office 2007/2010 であれ、Windows8 であれ、IVS による異体字を扱えるようになるといっても、それだけでは IME から変換・選択できるようになるわけではない。IME から異体字を入力するためには、IVS Add-in および IPAmj 明朝をインストールした上で、さらにユーザー側で IME の辞書を拡張する必要がある。

IVS 技術促進協議会より Unicode IVD へ対応した Microsoft IME 拡張辞書（β版）が無償提供されているので、これを利用してみるとよいだろう（IME 2012 へ対応）。1 日も早い正式版の公開が待たれるところである。なお、IME の拡張設定のためには「変換文字制限」の設定を変更する必要がある。

Unicode IVS 対応 Microsoft IME オープン拡張辞書 （v0.91） ※2013 年 2 月現在
<http://ivstpc.jp/ime/default.html>